

# 平成 27 年度学校評価

奥間小学校  
校長 久高 利美子

## ■関係者評価

※ A「十分達成」 B「概ね達成」 C「要努力」

		評価の観点	総合 評価	ご意見
1	教育 目標	児童の実態や保護者・地域の人々の願 いを踏まえたものになっている。	A	
2	学 習 指 導	授業が楽しく分かりやすくなるよう に、授業改善に努めている。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先生の話をよく聞き、学習 態度も良かった。</li> <li>・ 授業中、おしゃべりする子 がいないので、感心した。</li> </ul>
3		児童は、眼と心で「聴き合う」ことが できている。	B	
4		学習の基礎となる学習規律の指導がな され、児童はそれが身につけている。	B	
5		児童は友だちに「分からない」「教えて」 が言え、またそれに寄り添うことがで きている。	B	
6		家庭学習の方法を指導し、習慣化と質 の向上を図っている。	A	
7		児童の能力や努力を適切に評価してい る。	A	
8		「朝の読書」ができるように適切に 指導している。	B	
9		校内研修等の充実に努め、それを授 業にいかしている。	B	
10		生徒 指導	いじめ等のない安心な学級づくりに 努めている。	
11	児童は、自らすすんであいさつをし ている。		C	
12	整 環 備 境	学校の環境美化・学習環境を整えて いる。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 常にきれいに整備されてい る。気持ちがいい。</li> </ul>

13	安全指導	集団登校指導・避難訓練・防止教育等の実施により、その成果は表れている。(危険回避能力・命を守るという意識)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団登校は良いことなので、安全指導しながら、続けてほしい。</li> <li>・ 危険な行動を見た時は、その場でしっかりと大人が注意する。それが大切です。</li> </ul>
14	教育相談	学習や生活について、親身になって児童の相談にのっている。	B	
15	特別支援	支援を必要とする児童の実態把握や支援方法の工夫改善を図り、指導している。	B	
16	キャリア教育	各教科において、キャリア教育を意識した授業を行っている。	B	
17	規律	勤務規律の遵守・身だしなみ・言葉遣いは常に意識している。	A	
18	保護者地域との連携	学校は、経営方針・結果報告等を保護者・地域へ伝えている。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本校の児童は素直で人なつっこい子が多いです。地域の宝として地域に見守られている環境ではありますが、もっともっと地域の人材を活用した取り組みが出来たらいいなと思います。 (高齢者とのふれ合いを通して学べる企画を)</li> <li>・ ほとんどの家庭が共働きで、子どもとゆっくり向き合う時間が少ないのかなと、思うことが多々あります。親の精神的なゆとりの差が子どもの学習意欲と大きく関係するので、学校側と保護者との情報交換を密にする努力が必要。(親のための子育てゆんたく会みたいなことができればいい。</li> </ul>
19		学校は、地域教育資源の積極的な活用を行っている。	C	
20		学校は、児童・保護者・地域の声を学校運営に反映している。	B	

平成27年度 学校評価（自己評価）

■職員

奥間小学校

【評価基準：A:十分達成(90%以上)B:達成(60%～89%)C:改善する必要がある(～59%)】

		評価の観点	評価
1	学習指導	同僚性があり、仕事にやりがいがあると思う。	B
2		授業が楽しく分かりやすくなるように、授業改善に努めている。	A
3		児童は、眼と心で「聴き合う」ことができている。	C
4		学習の基礎となる学習規律の指導がなされ、児童はそれが身につけている。	C
5		児童は友だちに「分からない」「教えて」が言え、またそれに寄り添うことができている。	B
6		家庭学習の方法を指導し、習慣化と質の向上を図っている。	B
7		児童の能力や努力を適切に評価している。	A
8		「朝の読書」ができるように適切に指導している。	A
9		校内研修等の充実に努め、それを授業にいかしている。	A
10	生徒指導	いじめ等のない安心な学級づくりに努めている。	A
11		児童は、自らすすんであいさつをしている。	C
12	整備環境	学校の環境美化・学習環境を整えている。	A
13	安全指導	集団登校指導・避難訓練・防止教育等の実施により、その成果は表れている。(危険回避能力・命を守るという意識)	A
14	相談教育	学習や生活について、親身になって児童の相談にのっている。	A
15	支特援別	支援を必要とする児童の実態把握や支援方法の工夫改善を図り、指導している。	B
16	教リキ育アヤ	各教科において、キャリア教育を意識した授業を行っている。	B
17	規服律務	服務規律の遵守・身だしなみ・言葉遣いは常に意識している。	A
18	地域保護者の連携	学校は、経営方針・結果報告等を保護者・地域へ伝えている。	A
19		学校は、地域教育資源の積極的な活用を行っている。	A
20		学校は、児童・保護者・地域の声を学校運営に反映している。	A

平成27年度 学校評価（自己評価）

■児童

奥間小学校

【評価基準：A：十分達成（90%以上）B：達成（60%～89%）C：改善する必要がある（～59%）】

		評価の観点	評価
1	学習指導	わたしは、学校や学級へいくのが楽しい。	B
2		授業は分かりやすく、楽しい。	A
3		わたしは、友だちの話を目と心でしっかり聞くことができる。	B
4		わたしは、学習のきまりを守っている。	B
5		わたしは、授業中、友だちに「分からない」「教えて」が言える。	B
6		わたしは、家庭学習や宿題にきちんと取り組んでいる。	A
7		先生は、よくほめてくれる。	B
8		わたしは、「朝の読書」の時間、集中して取り組んでいる。	B
9		わたしは、グループでの学習が楽しい。	B
10	生徒指導	わたしの学級は、いじめ等が少なく安心できる場所である。	B
11		わたしは、誰に対してもすすんであいさつをしている。	B
12	整備環境	わたしは、そうじや当番活動をきちんとしている。	A
13	安全指導	わたしは、安全に気をつけて行動することができる。	A
14	相談教育	先生は、話をよく聞き、相談にのってくれる。	B
15	支援助別	困っている友だちに気づき、よりそうことができる。	B
16	教リキ育アヤ	先生は、学ぶことの意味や将来のことについて話してくれる。	B
17	規服律務	先生方は、ていねいな言葉遣いで話してくれる。	B
18	地域との連携 保護者の	学校・学級のたよりなどで、学校やクラスの様子を家へよく知らせてくれる。	A
19		地域の人などが先生になったり、学校を出て見学などの授業をすることがある。	B
20		授業参観日には、家の人が見に来てくれる。	B

平成27年度 学校評価（自己評価）

■保護者

奥間小学校

【評価基準：A：十分達成（90%以上）B：達成（60%～89%）C：改善する必要がある（～59%）】

		評価の観点	評価
1	学習指導	子どもは、学校へ行くのが楽しいと言っている。	A
2		子どもは、授業は分かりやすいと言っている。	B
3		子どもは、しっかりと人の話を聞くことができている。	B
4		子どもは、学習用具の忘れものがなく、学習態度はよい。（授業参観等から）	C
5		子どもは友だちに素直に「分からない」「教えて」が言えると思う。	B
6		子どもは、家庭学習や宿題の習慣が身についている。	B
7		子どもは、学校でのことをよく話す。	B
8		子どもとともに積極的にファミリー読書に取り組んでいる。	C
9	生徒指導	学校は、いじめ等がなく安心できる場所である。	B
10		子どもは、自らすすんであいさつをしている。	C
11	整備環境	学校は、環境美化に努め、学習環境が整っている。	A
12	安導全指	学校は、避難訓練・日常指導で危険を回避する指導を行っている。	A
13	相教談育	先生方は、いじめや悩み、勉強のことなど、困っていることについて相談にのってくれると思う。	A
14	支特援別	学校は、子どもたちのことについて保護者との連携をよく図っている。	A
15	教リキ育アヤ	子どもと「夢」と「将来の仕事」について、家庭でよく話をする。	B
16	規服律務	先生方の子どもや保護者への対応は、適切でていねいである。	A
17	地域との連携 保護者の	学校は、学校行事や学校生活の様子などについて、家庭や地域に情報提供を行っている。	A
18		学校は、地域教育資源を活用した取組や地域の人を迎え入れる雰囲気を整えている。	A
19		PTA活動・学校行事・授業参観に積極的に参加し、学校に支援・協力している。	B

## 平成27年 学校評価自己評価の分析と考察及び対応策

奥間小学校

□1学期（7月），2学期（12月）に，職員，児童，保護者を対象に実施し，本校の課題を把握し，今後の教育活動及び学校運営の参考とする。

□アンケート結果からみえる課題（達成率 80%未満）

職員	児童	保護者
3 児童の聴き合う関係	4 <u>学習のきまり</u> を守っている	3 しっかりと人の話を聞くとができる
4 <u>学習規律</u> が身に付いている	7 先生はよく褒めてくれる	4 忘れ物がなく， <u>学習態度</u> が良い
5 児童が「わからない」「教えて」が言える	10 学級はいじめがなく <u>安心</u> できる場所	8 積極的にファミリー読書
11 <u>進んであいさつ</u> できる	11 <u>進んであいさつ</u> している	10 <u>進んであいさつ</u> している
16 キャリア教育を意識した授業づくり	15 困っている友だちに寄り添う事ができる	
	16 学ぶ事の意味や将来の事を話してくれる	

□アンケート結果から考察

### 【低学年部】

- 家庭学習や宿題にきちんと取り組んでいると意識している児童が多い。
- 掃除や当番活動をきちんとできている児童が多い。
- 特定の子の暴言や言動が，学級の雰囲気に影響している。  
→話を聞いたり，場を変えたりして落ち着かせる。  
ほめられる場面を見つけ，褒める言葉かけを増やしていく。
- 「進んであいさつしている」と思っている児童は多いが，自ら進んで元気よくあいさつできている児童は少ない。  
→元気なあいさつができるよう，学年ごとの取り組みを検討していく必要がある。

### 【高学年部】

- ・学習規律を守ることができないのは，教室が家庭の延長線上なっているからではないか。集団での規律をしっかりと守らせていけないといけない。
- ・「すすんであいさつ」は，一学期と同様に低いパーセンテージをしめている。  
→いろいろな先生が何度もしかける必要がある。（朝は特に）
- ・困っている友だちに寄り添う事ができないのは，寄り添った事でプラスになった経験が少ないからではないか。（教えたのに文句を言われた等）